

中心児報

発行日：2022（令和4）年9月20日

発行：社会福祉法人 中心会

児童養護施設 中心子どもの家

相模原市中央区田名10125

TEL：042-764-7046

URL <http://kodomo.chusinkai.net/>

Email kodomonoie@chusinkai.jp

発行責任：所長 丹 清



「真心に育つ」 創設者 常岡一郎 揮毫

※ カラー版はホームページをご覧ください。

真心に守られて

所長 丹 清

中心子どもの家は、多くの方々の真心で成り立っています。「子ども達のために」と、毎月5千円をご寄附下さっている方、何年も前から1度も途絶えることなく子ども一人ひとりのバースデーケーキを作って下さっている方など、多くの方々の様々な真心に本当に頭が下がります。ありがとうございます。

先日は、更生保護女性会の皆様が中心子どもの家の玄関前に花を植えて下さいました（その一部が下の写真）。中心子どもの家は桜の木やつつじはたくさんありますが、このような花はあまりありません。特に今の時期、緑色がほとんどの中心子どもの家には、明るい色の花が新鮮です。この花を見て、小さい子は「わー、きれい」と感じ入っていました。私達職員も、さわやかな気持ちにさせて頂いています。大きい子も、言葉にはしなくても、きっと同じだと思います。

長いコロナ禍にあるからこそ、思います。私達中心子どもの家の子ども・職員は、多くの方々の真心に守られてきて、今も守られているのだと。創設者の「真心に育つ」に、少しでも近づきたいと思います。



※今回は代表して、更生保護女性会の皆様の真心を記させていただきました。

生活の様子

泥団子を作るなら、雨上がりに！
きれいにまん丸なお団子ができました。
葉っぱに乗せて、たくさん並べ、
気分はお団子屋さんです。



育てていた野菜についていたからと、モンシロチョウの幼虫をいただきました。

正面入り口に虫かごを置いていましたが、学校帰りに様子を見に来ると、「いつになったらチョウになるかな？」と口にしていました。成虫になったチョウは、子どもたちに協力してもらい、外の世界に飛び立っていきました。



6月13日、相模原麻溝公園のふれあい広場からポニーがやってきました。昨年度も来てくださり、今年度もまたご縁があって、迎えた当日は天気にも恵まれ、晴天の中、実施することができました。



乗馬体験は二列に並んで待っていますが、「こっちの馬に乗りたい！」「あっちの馬がよかったのにー！」と、自分の乗りたい馬に乗れないことも。お目当ての馬に乗りたくて、列に並び直す子もいました。一人では怖くて乗れないという子には、年上の児童と一緒に乗ろうと声を掛けて一緒に乗ってくれていました。

ブラッシングやえさやりなどのポニーと触れ合う時間もあり、「噛まない？」と何度も聞きながらえさをあげる子もいれば、「この子にえさをあげたい！」とお気に入りのポニーに張り切ってえさをあげる子も。それぞれに楽しんだ様子でした。

昨年度に引き続き、このような機会をくださった公益財団法人ハーモニセンター様、ふれあい動物広場の皆様に、感謝申し上げます。



暑い時期になると、園庭の草がぐんぐん成長していきます。あまりに草が伸びるので、ある日草刈りをしました。

草刈り後、そのまま日干しにし、嵩を減らして数日。掃除をしている人が、野菜作りをしている畑の草刈りついでだと片づけてくれました。



「危ないから鉄棒の代わりにしないよ！」

園庭にある手すりを鉄棒代わりに使う子どもたち。ちゃんとした鉄棒を用意したいと思っていました。今年度、念願かなって地球ファミリー様にご協力いただき、園庭に鉄棒を設置することができました。

設置工事後、安定するまでは使えないということで、しばらくの間待つことに。「いつから使える？」と聞きにくる様子から、楽しみにしていることが伝わってきました。ようやく使えるようになった日、たくさんの子が鉄棒に向かって走っていきました。



夏休みは新型コロナウイルス感染症とのたたかいとなりました。数年ぶりに外出のできる夏休みを過ごせると思っていた矢先の、全国的な感染者数の増加、そして施設内での感染者の発生により、またまた制限のある夏休みとなり、企画していたイベントは続々中止となりました。

夏休みも終盤となり、ようやく施設内の感染状況も落ち着き、最後に何か一つでも思い出作りができればと、夏祭りを開催しました。



すいか割りから始まりビンゴ大会、輪投げや金魚すくいなどの縁日を行い、締めくくりに水遊びとボディペイントで大いに盛り上がった一日となりました。

夏祭りでは、施設のイベント用にとご寄付いただいた物品も使用させていただきました。様々、ご支援くださった皆様方に感謝申し上げます。

クワガタムシ、カブトムシをいただきました。虫取りに夢中な子どもたちは、興味津々。クワガタムシは、ミヤマクワガタとノコギリクワガタがいたため、種類の違いを楽しむこともできました。

せっかくだから名前をつけようと、夏祭りの日には事前に集めた名前の候補を一覧にして、投票を行いました。



ありがとう!

『更生保護女性会（中央区）』の方々と花植え



8/30 (火) ☁️ (くもり)

日頃より、繕い物や七五三の着付け等様々お世話になっている『更生保護女性会（中央区）』の方々数名にご協力いただき、施設の入り口に花苗を植えました。苗は更生保護女性会の方のお知り合いの中里園芸様よりご寄付いただきました。

もともとは雑草が生えている場所だったため、地面の手入れから始まりました。土を耕し雑草を抜き取り、黙々と作業をされて1時間。約50本の苗の植え付けをしてくださいました。

子どもと関わりながら作業することが難しい昨今ですが、子ども達は積極的に水をやり成長を喜んだり、色とりどりの花壇を眺め、ひとときの癒し時間を得ています!!蒸し暑い中、本当にありがとうございました。

知っていますか？里親制度

普段施設で生活する子どもが一家庭体験させてもらうさがみフレンドホーム〔短期里親〕という種類の里親さんを募集しています。

Q、どんなことをするの？

A、一般家庭での普通の日常生活を体験させて下さい。

Q、期間はあるの？

A、基本的には、子どもが施設を退所するまでの間です。交流の頻度は、里親や子どもの状況により様々ですが、半日から数日間の交流を月に1回程度、継続して行います。



より詳しい情報は、（10月1日～）相模原南児童ホーム 内山迄ご連絡下さい 046-251-5590

ご寄附お礼

【2022年4月～6月】

相模原キリスト教会 様、有限会社 第一タイセンター 代表取締役 熊谷 敏博 様、山本 昭彦 様、高木 伸幸 様、会田 吉美 様、相模原中央地区更生保護女性会 様、㈱サティ相模大野店 様、株式会社 Daska&Desiree 様、小平 敦子 様、WFWP さがみはら 金澤 静子 様、山岸 敏子 様、中村 喜代美 様、株式会社 KMC 代表取締役 相原 朝晃 様、株式会社 三光芸社 代表取締役 貝塚 豊 様、丸福工業㈱ 坂本 孔基 様、鈴木 豊 様、関東アイスクリーム協会 様、産経新聞 横浜総局内 横浜キワニスクラブ 様、深津 重光 様、田中 博幸 様、株式会社 チョチュアナ 1%クラブ 様、北原 クリティーナ 様、会田 吉美 様、公益財団法人 日本漢字能力検定協会 様、岸野 光晴 様、三ヶ木 郁 様、株式会社 地球ファミリー 様、匿名1名 様

熱いご支援ありがとうございました。